

レジメン名

CAPOX(XELOX)+bevacizumab

出典 エルプラット適正使用ガイド2012年3月作成
ゼロダ適正使用ガイド2011年11月改訂

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

結腸・直腸癌

進行・再発
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

WBC	2000/mm ³ 未満	PLT	50000/mm ³ 未満
その他	上記の時の減量の目安 L-OHP:130mg/m ² →100mg/m ² →85mg/m ² Capecitabine:2000mg/m ² →1600mg/m ² →1280mg/m ² CLcrが30-50mL/minの患者ではCapecitabineを25%減量		

投与中止の基準

WBC	3000/mm ³ 未満	PLT	75000/mm ³ 未満
CLcr	30mL/min未満		
その他	神経毒性、アレルギーに注意		

1クール期間 21日

総クール数 PDまで

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ベバシツマブ	7.5mg/kg	NS100mL	初回90分*	d1
オキサリプラチン(エルプラット)	130mg/m ²	5%TZ500mL	2時間	d1
カペシタビン	2000mg/m ² ※	朝、夕食後		d1タ-15朝
※初回90分で忍容性が良好であれば2回目60分、3回目以降は30分まで投与時間の短縮可能				
	※体表面積ごとで投与量を決める 1.36m ² 未満:1200mg/回×1日2回 1.36m ² 以上~1.66m ² 未満:1500mg/回×1日2回 1.66m ² 以上~1.96m ² 未満:1800mg/回×1日2回 1.96m ² 以上:2100mg/回×1日2回			

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ①生食50mL (ルート確保用)
②ベバシツマブ7.5mg/kg+生食100mL(90分*) (2回目60分、3回目以降30分まで短縮可)
③アロキシ0.75mg/バッグ+デキサート6.6mg(15分)
④エルプラット130mg/m ² +5%糖液500mL(2時間)
⑤生食50mL(フラッシュ用)
day1タ-15朝 カペシタビン錠 2000mg/m ² 分2で服用